



ており、製造係に配属されて熱と粉の中で交替勤務を10年位続けました。

そのうち昭和30年頃より新增設が盛んとなり、米英独等より新技術を導入し計測器を多数つけた集中制御方式が採用され始め、自動御制も採用されましてようやく私の専門が役立つ時代になりました。昭和35年頃より米国でアポロ計画の月ロケットに採用するコンピューター技術が工業用に应用され始めたので日本の工業界も興味をもち、20名位の技術者の1人としてロスのTRWに勉強に行きました。当時の工業用のコンピューターはハードとソフトの両技術とも幼稚でプログラムも今日のような便利なフォートランなどなくて機械語でプログラムを書くなど大変むづかしいものでしたが、非常に勉強になりました。しかし高価であり信頼性に難点があり採用になりませんでしたので、又製造の方に従事しました。昭和45年の上磯の増設時にIBMの工業用コンピューターを採用することになり、開発チームのリーダーとして当社の優秀な技術者5名と協力して、3年後に原料より焼成、仕上、出荷迄の全工程のコンピューターコントロールに成功しました。セメント産業がこの27年間で米独を抜いて自由世界第1位の生産国輸出国になり、品質の良い安いセメントを皆様に供給できるのも、NSPのような効率よい巨大な生産設備と集中計測制御の両技術の開発とバラ輸送生コン販売という流通改革を行ったためで、入社時は不必要であった私もお役に立つようになり、当社上磯工場のお世話をしながら皆様のお仲間にも入れて戴くようになった事を考えると、時代の移り変わりとはいえ、自分ながら驚きもし、又感謝の念で一杯です。

 * クラブ全員の協力で *
 * 79年の地区大会を成功させましょう。// *

地区大会に関するお知らせ

◎2月20日の総務委員会で次の事柄が決定をいたしました。

- ① 地区大会の記念講演者……草柳 大蔵氏 「80年代の思想の構造」
- ② ローター美術館の設置
- ③ 地区大会親睦ゴルフ大会の会場を大沼プリンスゴルフ場に決定

◎出席報告

会員数	72名	出	函館北(2/28)	98.61%
出席	51名		函館東(2/13)	98.91%
欠席	21名	席	函館(2/15)	86.61%
他クラブ出席	20名		函館五稜郭(2/16)	100.00%
出席合計	71名	率	亀田(2/12)	法定休日
出席除外者	0名			

次回例会日 3月28日

プログラム “私の履歴書” 伊藤 貫一会員

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

(R.I. 会長 クレム・レヌフ)

第741回例会

1978-1979 第37号 1979・3・28



深瀬 鴻一郎会員

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30 例会場 国際ホテル
 事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

“私の履歴書” 伊藤 貫一会員

第740回例会記録

- ◎司会 高杉 重雄会長
- ◎斉唱 我等の生業
- ◎ビジター 札幌真駒内R.C. 本田 勇君 函館R.C. 庄子 正治君外
 5名 函館東R.C. 谷口 重勝君
 函館五稜郭R.C. 斎藤 東栄君

●幹事報告 西巻 秀樹幹事

1. 先般、函館東 R.C. のホストで開催されました、I.G.F. 参加料 1 名 ¥4000 ですが、半額御負担いただくこととなります。尚、登録したが、出席出来なかった方が 1 ~ 2 名おられました、同じ様に扱わせていただきます。後程、集金にまわりますので宜しくお願い致します。
2. 次週の例会 (3 月 21 日) は、法定休日の為休会でございます。
3. 北見西 R.C. より例会場変更の御案内がまいっております。
住所=北見市七条西一丁目 新例会場=ホテル黒部 毎週木曜日・12時半

●ロータリー財団委員会 角谷 隆一委員長

日頃何かと当委員会に対し御協力をいただきておりあらためて感謝申し上げます。前年度、平野 義勝委員長の積極的呼びかけに対し、多数のポールハリス準フェローの誕生がみられましたが、思えば、本年度秋には当クラブがホストで地区年次大会が行われますことは、すでに御案内の通りであります、侯野 純夫会員につぐ第二・第三のフェローの誕生を大いに期待致して居ります。すでに数名の方は残金の一括御入金がございます。年度末 (6 月) 迄にその様にされたいと御計画の方がございましたら、私角谷、又は、西巻幹事さんに御連絡いただければ幸に存じます。

●親睦活動委員会 竹林 朔三委員

ニコニコBOX投入のお知らせ

安藤 勝見会員……ホームクラブ欠席がちのお詫びとして

日一日と春も深まり、仕事にレジャーに身も心も、リズムカルの今日この頃ですが、BOX投入が今一ツさびしき状態です。皆さんの御協力を心から御願ひ致します。親睦委員会 田中 幸市・南 宏国・堺栄 泰典・竹林 朔三 加藤 久春・中川 洲平各会員

★★他人に対する我々の主義

国際ロータリー会長、クレム・レヌフ氏は、1978年の国際協議会で行った演説の中で次のように述べている。「われわれの生きているいまの世界では男も女も、階級とか皮膚の色とか、主義とか偏見などの人為的な障壁に分断されており、しかも、激しい歴史の潮流は、否応なしに、こうした人々の間の距離を狭めつつあるのである。われわれの誰もが積極的な関心を直接もつように求められている問題は、国とか政府とかに關することではなくて、人々のこと……同じ喜びを悲しみをもち、同じ望みや恐れを抱いているわれわれのような男女、人を理解し、また人から理解されなければならない男女に關することなのである」。

★世界理解週間

31年前、ブラジル、リオデジャネイロで開かれたロータリーの第39回年次国際大会で、元国連総会議長オスワルド・アラニヤ博士が演説をしたことがある。世界理解週間 (1979年2月18日~24日) とロータリー創立74周年記念日2月23日 (在函5クラブ合同例会を開催したが)、その時に博士の述べた次の言葉がいまでも生きているのを感じる。

「ロータリーは、確かに、平和を意味する名前の一つである。ロータリアンのする仕事は、それを支える信条がなければならない……ロータリーには、人々を寄せ集め、協調させ、人々や各国民の間の平和的関係を高め、そして、そうした人々の中に、理解の場、世界の人々の生活に連帯感および友愛、物質的信念の観念を植えつける場をつくりあげるのに適した背景をもっている」。

★社会奉仕



新会員歓迎

新会員をクラブに入れた場合、その利益は倍加する。新会員のエネルギーと意気込みとが新たに加わることによって、クラブに、社会奉仕について何か新しい行き方を考えようとする気運が生れてくる。そうなると、それがクラブの活動の発展を促すことになる。クラブが強力な発展をすれば、会員になりたいという地域社会のことに関心の深い人がふえてくる。

★クラブ奉仕

人々と一緒にいて、昼食をし、そして人が自分に興味のあること、自分の家族のこと、仕事のこと、失敗したこと、成功したこと、あるいは自分のした旅行のことなどについて話すのに耳を傾けるのは勉強になるものである。誰でも自分のもっているいろいろな役目、一たとえば夫、父、雇い主、従業員、市民、ボランティアのヘルパーなど一をつとめることで、自分自身を向上させることができる。

ロータリーは、世界のどこでも、先生と生徒とでいっぱいであり、みんなでお互いに学び合っているのである。

クラブ全員の協力で

79年の地区大会を成功させましょう!!

★職業奉仕

「職業奉仕で世の中に大きな貢献をすることが出来るとしても、それは議論によって実現されるものでなく、ましてや、ロータリークラブでもっともらしい決議をしたからといってできるものではない。ロータリーの核心をなすものは一人びとりの行動である。ロータリーによってつくられるものは人である。職業奉仕の場合、とくにこのことが言える」。

★国際奉仕

ポール・ハリスは、国際奉仕について書いたものの中で、次のように述べている。

「国際親善ということは、これまで、人の心をとらえた、願望のうちで最も



高貴なものである。この願望のためには、人は、あとで『それみよ、だから言ったではないか』と言えるような立場に立つよりも、むしろ敗れてもいいから戦う方の道を選ぶのである」。

★ロータリー財団

ロータリー財団、数十年にわたり、人のためにはたらくことが出来るように自分の能力を育てようとする優秀な青年男子および女子に援助することによって、人間生活の向上に貢献している。次の言葉は、ある1950年の補助金受領者の書いた手紙の中からのものであるが、以上のことをよく言い表わしている。「広く国際間にわたる事柄についての『超我の奉仕』という考えが、終始、私の大学院での研究活動を支配していて、それが私にロータリー財団に奨学金の申請をしようという気を起こさせたのです。いまの世界は多数国家間に見られる理解の欠如に悩んでいます……私は、まず私のいただく奨学金を親善と国際理解の増進のために生かして使おう—それから、学習で得たものを自国に持ち帰るようにしよう、と考えています……」。(★、★★は情報抄録より)

●卓話 「私の履歴書」 新 善次会員

現在、全世界的に大きな国際問題の一つである、エネルギーについて、特にオイルの件について、現在、将来に拘る広範囲に渡りお話があった。それにしても、初代会長の卓話は本当にひさしぶりのことではないだろうか。

会報委員会よりお願い!

ニュースをどんどんおよせ下さい

◎出席報告

会員数	72名	出席率	函館北(3/7)	98.61%
出席	49名		函館東(2/20)	98.91%
欠席	23名		函館(2/22)	90.18%
他クラブ出席	22名		函館五稜郭(2/23)	100.00%
出席合計	71名		亀田(2/19)	90.24%
出席除外者	0名			

次回例会日 4月4日

プログラム 「私の履歴書」 青柳 喜一会員

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

(R.I. 会長 クレム・レヌフ)

第742回例会

1978-1979 第38号 1979・4・4



深瀬 鴻一郎会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

「私の履歴書」 伊藤 貫一会員

第741回例会記録

- ◎司会 高杉 重雄会長
- ◎斉唱 手に手つないで
- ◎ビジター 小樽南R.C. 小松 清君 函館R.C. 澄 信一君他10名
- 東R.C. 森岡 勝君 五稜郭R.C. 渡辺 晃君他3名
- 亀田R.C. 三谷 勇平君